

## 資料-4

第18回 維持管理・環境管理専門委員会

2016年11月9日

# 実施計画の見直しについて



## 実施計画の内容整理と対応方針

### ○前回の委員会で提示された（案）

「特に生物多様性及び自然性の高い湿地環境の拡大とともに、多くの都市住民に荒川太郎右衛門地区自然再生地の魅力を最大限にアピールするために、コウノトリの生息及びサクラソウ群落の成立を自然再生の総合的なシンボルとして設定する。」



### 【課題】

- サクラソウは、全体構想書の目標種として設定されており、総合的なシンボルとしての設定は問題ありませんが、コウノトリは目標種として設定されていないため、総合的なシンボルとするためには、全体構想書の改定が必要となります。
- 荒川上流河川事務所の実施計画書は、過去の予算確保及び投資の根拠となっており、簡単に目標を変更できるものではありません。したがって、コウノトリを目標とした整備を実施するためには、新たな実施計画の作成が必要と考えられます。

### 【対応案】

- 全体構想書の改定で、コウノトリを記載することは、協議会の合意が得られれば、可能と考えられるため、全体構想書の改定を行います。  
（全体構想書の改定は変更の実績（荒川太郎右衛門地区自然再生）があり、改定は可能と考えられます。）
- シンボルとしてのコウノトリのための整備や維持管理の実施は、追加の実施計画を作成し、新たな予算の確保や、アイデアを出し合って実施することが必要と考えられます。